

科目名：分子変換化学

科目英文名：Chemistry of Organic Reactions

担当者：畠中 康夫

授業（形態）：専門科目（講義）

単位（区分）：2単位（D）

[科目の主題と目標]

有機合成反応の最近の進歩を解説し、また最先端の研究論文をセミナー形式で学生に紹介させる。

この科目は主に応用化学科の学習教育目標の（D）に関連する。

[授業内容・授業計画]

研究室においてセミナーを行う。

[教材]

資料は適宜配布する。

[受講生へのコメント]

平素から常に専門誌や総説等に目を通すことによって、幅広い知識を身につけると共に、専門性も養うように努める。

[成績評価の方法及び基準]

与えられた課題に対する発表資料の作成と口頭発表により研究論文の理解の程度(D-1, D-2) (50%)とプレゼンテーション能力(D-3) (50%)を総合的に評価する。また、質疑応答もそれぞれの評価に加味する。

科目名：分子触媒化学

科目英文名：Chemistry of Homogeneous Catalysis

担当者：畠中 康夫

授業（形態）：専門科目（講義）

単位（区分）：2単位（D）

[科目の主題と目標]

均一系錯体触媒化学の最近の進歩を解説し、また最先端の研究論文をセミナー形式で学生に紹介させる。

この科目は主に応用化学科の学習教育目標の（D）に関連する。

[授業内容・授業計画]

研究室においてセミナーを行う。

[教材]

資料は適宜配布する。

[受講生へのコメント]

平素から常に専門誌や総説等に目を通すことによって、幅広い知識を身につけると共に、専門性も養うように努める。

[成績評価の方法及び基準]

与えられた課題に対する発表資料の作成と口頭発表により研究論文の理解の程度(D-1, D-2) (50%)とプレゼンテーション能力(D-3) (50%)を総合的に評価する。また、質疑応答もそれぞれの評価に加味する。